

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年11月21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100393
法人名	医療法人 友志会
事業所名	グループホーム 良友
所在地	鹿児島市玉里団地二丁目5番1号 (電話) 099-229-8222
自己評価作成日	平成29年10月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1階に内科クリニックがあり、医師2名、看護師が居り、クリニックは在宅療養支援診療所の届出をしており、週2回の訪問診療を受けることができるため、安心して預けられるとの御家族様方からの御意見を頂いている。
スタッフは正職員が多く、落ち着いたケアサービスを提供している。看取りを行っている為、死亡退居される時、御家族様に感謝されている。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年10月31日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、母体医療機関が1階にあり、2階が当グループホームになっており、週2回の訪問診療、24時間医療連携体制が整っている。耐震性の建物でもある。
- ・敷地内にデイサービスや2ユニットのグループホームがあり、介護サービス、福祉事業所の力を活かした地域貢献をしている。防災訓練時、相互間の連携がとれている。
- ・町内会に加入し、地域夏祭り・敬老会への積極的な参加、中学生の体験学習受け入れ、地域住民の介護相談、施設見学受け入れ、地域商店での食材購入など、地域との継続的な交流が行われている。
- ・利用者の嗜好を取り入れながら30種類の食材を活用し食事作りで彩りや栄養バランスを心がけている。
- ・職員は毎朝理念の唱和を行い、日々のケアに活かしている。勉強会や豊富な研修、資格取得に励み、資質のレベルアップに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	スタッフルームに理念を掲げ、スタッフは常に再確認して実践している。	地域密着型サービスの意義をふまえた独自の理念を、玄関・廊下・スタッフルームに掲示し、机上にも貼っている。朝の引き継ぎやミーティングの時、唱和し、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	坂元中学校3年生の男女8名が職場体験学習に来訪し、4つのフロアーを順番にまわって利用者方との交流を楽しんでもらった。	町内会に加入して回覧板で情報を得たり、地域の夏祭りに参加している。中学生の職場体験学習や教職員の地域貢献研修の受け入れや学校長の来所もある。地域住民から認知症について相談や見学に來られ対応している。施設行事への地域住民の受け入れ等、地域と継続的な交流ができています。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域も住民の高齢化がすすみ、介護相談、入居相談に施設長、管理者が応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>看取りをしていると、予定通りに会議を開くのは難しく、外部の方にはお願いしづらい面がある。話し合わなければならないテーマは沢山あり、友志会の職員で行うことが多い。</p>	<p>2ヶ月毎に定期的開催している。身近なテーマを取り上げ、ホームの現状や利用者の外出支援・敬老会・家族会の反省・インフルエンザ・非常災害時の対応・外部評価報告等、多岐にわたり意見交換し、サービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>空室状況を地域包括支援センターへお伝えするなどして連携している。</p>	<p>市担当者とは日頃から相談・助言をもらい連携をとっている。市の研修会に積極的に参加、介護相談員の受け入れも行っている。地域包括支援センター職員とは、空室状況や現状報告をして相談等、密に協力関係を築いて取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>理事長より身体拘束は禁止されて居り、拘束する道具はいっさい置いてない。見守り、声かけを重視して玄関に施錠をしていない。</p>	<p>マニュアルを基に、定期的に勉強会を開催し、身体拘束をしないケアについて、禁止となる具体的な行為を示し、共通理解をしている。言葉の拘束も日頃から配慮している。昼間は玄関の施錠はしていない。近隣住民の声かけや見守りもある。利用者が孤独にならないように家族の協力も得て、拘束しないケアに取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員に給与を支払って下さっているのは利用者様方であるという意識のもと、利用者様への虐待はあってはならないと、職員は皆理解している。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>パンフレット等を読み、研修をして、御利用者様の権利について、成年後見制度について学んでいる。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者や施設長の方から、御家族様に説明し、契約時に重要事項説明書をもとに質問を受けて説明し、納得して頂くように努力している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議に御家族の参加をお願いし、意見や要望を頂くように努めている。又、面会時に御要望をお聞きし、家族会でも意見を頂くようにしている。</p>	<p>利用者からは、日常のケアの中で思いを聞いている。家族からは、運営推進会議や家族会の時に気軽に意見や要望を表せるよう努めている。昼・夜間の水分摂取量や摂取方法、居室のクーラーの温度等、利用者や家族の意見を反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝のミーティングの時等、職員から運営に関する意見を出してもらって、検討して必要なことは運営に反映させている。</p>	<p>ミーティングや職員会議の時に意見や提案を聞いている。日常のケアの中で、気づきノートからも意見や提案を把握している。施設長や管理者は日頃から職員とコミュニケーションを図り意見を言いやすい雰囲気而努力している。利用者の掻痒や身体の清潔について等、職員の意見や提案を運営に反映している</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>ロッカールームをつくって職員が働きやすいようにした。昼食後交代で休けいできるよう、ソファを設置したりして、職場環境、給与水準を見直した。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設長をはじめ、理事長自らスタッフの成長を見守り、注意と助言を行い、内外の研修を受ける機会の確保をはかり、職員の仕事に対する意識の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同一敷地内にあるグループホーム玉里やデイサービスへ訪れる機会をつくり、視野が狭くならないよう多くの利用者様の様子をみられるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居された後の数日間は御利用者様は環境の変化にとまどっておられる為、特に声かけをして本人の声に耳をかたむけスタッフはそれを共有している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入居当初は、御家族様の訪問も多いため入居以前の様子を聞く等、入居者様を理解する為の材料を多く集める努力をしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>グループホームに入居されると他のサービスの利用が出来なくなる為、ホームでのサービスで入居者様が安心して暮らせるよう最大限努力する。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>気の合う方と隣同士の席に着いてもらったり、外をみるのが好きな方、お話の好きな方と、その方の興味のある事を重視する。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>時々、自宅へ連れて帰ってもらえる方、一度も自宅へ帰れない方、1人1人違うので、入居者様が寂しい想いをされないよう職員は常に心を配るようにする。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入居後、余り訪問されない御家族様へどのような働きかけをするかとても難しいが、関係が途切れないように気を配る。</p>	<p>入居時にアセスメントで把握している。趣味仲間や友人など馴染みの人の訪問に、ゆっくりとお茶を出して楽しんでいる。地域の夏祭りに参加して馴染みの関係が途切れないようにしている。美容室や墓参りに、家族が同行することもある。近隣商店での買物、手紙の支援もしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>気の合う仲の良い方と同じ席にするよう配慮する。入居者様が孤立しないよう心を配るようにする。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>ほとんどの入居者様が看取りでサービスが終了している為、退去後の交流はほとんどないが、入居者様の紹介につながることもある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	軽度な方は暮らし方の希望があり比較的対応しやすいが、重度の方は、希望や意向の把握が困難であるが、御家族の御意見も聞き対応している。	日常生活の中での表情や会話などから思いを推し測り、申し送りなどで全職員で共有している。昔の思い出や外国旅行をしたこと等を話される。意思疎通が困難な場合は、家族や関係者などから情報を得て、職員で話し合い本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	把握するよう努めているが集団生活ではなかなか1人1人の意向に添っているかどうか、把握は難しい。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様のおっしゃった言葉、しぐさ等、連絡帳に記入して皆で情報を交換している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員を中心に介護計画をつくり、本人にとってより良い生活が送れるようにスタッフは意見を出し合い、介護計画を作成している。</p>	<p>本人や家族の意見や意向を把握し、主治医の意見や職員・関係者の意見やアイデアを反映させ現状に即した介護計画を作成している。モニタリングは1ヶ月毎に行い、見直しは6ヶ月で実施している。状況に変化があった時はその都度見直し、現状に合った計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>毎日、日勤帯、夜勤帯に分けて介護記録を記入している。特に重要な点については、朝の引き継ぎの時に報告し情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>1人1人の状況に応じてスタッフは工夫し、ニーズに対応している。どうしたら良いかわからない時は、施設長、管理者に電話で相談する。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近くの公園への散歩やタイヨーストアへの買い物等、本人が望まれるならスタッフは付き添い、生活を豊かにする工夫をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>1階に運営母体の内科クリニックがあり、在宅療養支援診療所として月2回の訪問診療を受けられる為に、御家族も安心して入居されるとおっしゃて下さる。</p>	<p>本人・家族の希望を聞き、母体医療機関がかかりつけ医となっている。週2回の訪問診療があり、緊急時の対応が整っている。歯科は訪問診療であり、他科受診は家族が同行している。受診結果は、必要に応じて家族に報告している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>1階クリニックの看護師がドクターと共に訪問し、又、採血等に訪れる為、相談し、適切なアドバイスがもらえる為、安心してケアが出来ている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>外部の医療機関へ移られる方はほとんどおられないが、もし他院へ移られる際には、必要な援助を行うようにする。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化対応や看取りの契約等、入居時に御家族様へ説明し同意を得ているがどうしたら心穏やかに終末期を過ごして頂けるか、細心の注意をはらって支援に取り組んでいる。</p>	<p>重度化や終末期に向けた方針は入居時に説明し、同意書ももらっている。状況の変化に伴い家族・主治医・施設長・職員で話し合いを重ね、家族の意向を確認しながら方針を共有している。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時にはすぐに施設長、管理者に連絡すると共に、応急処置や初期対応について学ぶ機会をつくっている。</p>	/	/
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>良友の建物は近辺の建物に比べて新しく、鉄筋造りであるため、火災以外は外へ避難せず建物内にとどまるよう訓練している。</p>	<p>消防署立ち合いのもと、同敷地内にある法人の施設と合同で、昼夜想定して年1回避難訓練を実施している。防災設備点検、避難経路、防火扉の確認、歩行可能な利用者、車椅子の利用者の移動等、消防署の指導を受けている。スプリンクラー、緊急通報装置もある。近隣のコンビニや住民の見守りや協力もある。消防署の指導ではしご車の活用もある。自主訓練、点検も防火管理者が立ち合い実施している。建物が耐震構造であり1階ホールは、避難場所になっている。備蓄は水・カンパン・黒砂糖等、用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>入居者様方は皆それぞれの人格を持ち、誇りをお持ちなので言葉使いや態度に気を付けて、失礼のないような対応を心がけている。</p>	<p>マニュアルを基に人権尊重や権利擁護の勉強会を行って、人格やプライバシーを傷つけない対応に心がけている。職員間で話す内容や利用者のプライバシーの事など、十分注意している。トイレ誘導、名前の呼び方、入浴支援等、言葉や対応に気配りしている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>テレビをつけますか？音楽をかけますか？等、声をかけて希望を聞いて自己決定できるよう働きかけている。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>外出、入浴、居室か食堂か声かけにより本人の意思を確認して、移動や入浴等を行っている。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>持ち込まれた衣類をその日の気温や湿度等を考慮しておしゃれをして頂けるよう支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の時に座る位置やスタッフがどこに座るか等、その時の利用者様の状況に合わせて配慮し、共に食事やお茶が楽しめるように気配りしている。	飾りちらし・クリスマス・おせち・花見等、楽しい食事を提供している。外食にも出かけて食事を楽しむ支援をしている。30種類の食品を食事に取り入れる事で彩りや栄養バランスに努めている。咀嚼力の弱い利用者には刻み食やミキサー食を作っている。後片付けなど利用者のできることは一緒に取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	厚生労働省の指導による旧30品目以上の食材を使った調理を心がけている。特に夏場は水分の確保に心がけて細きざみやミキサー食もつくる。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食堂の洗面台を使っての口腔ケアや居室の水道を使っての口腔ケアを心がけ肺炎の防止に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	リハビリパンツにする等して、声かけや排泄パターンのはあく、排泄の個々の習慣を見極めてなるべくオムツ使用をへらすよう努めている。	排泄チェック表を活用して、個々のパターンを把握し、声かけ誘導を行っている。できるだけトイレでの排泄を支援している。食事にも腸の働きを配慮してヨーグルトや水分補給にも、気配りして自然排便と排泄の自立を支援している。パンツの選択もその方に合った素材を使用し、自立に向けて見守り支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	果物や野菜の種類を多くする等、調理に工夫して便秘を防ぐようにしているが、3日排便がないようなら下剤を使用する。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴や好きな方、嫌いな方いろいろおられる為、前日の入浴予定の方にも声かけにより本人の意思を確認して入浴してもらうようにしている。	基本は冬は週2回、夏は週3回の入浴であるが、本人の希望に沿って生活習慣に合わせた入浴ができるよう配慮している。入浴を嫌がる利用者には無理強いせず、順番や職員の交代を図ったり、シャワーキャリーを使い2人介助で浴室でのコミュニケーションを図りながら、タイミングをみて柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼食後や朝食後、居室で横になりたい方は居室でゆっくり横になれるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	1人1人の薬の目的や用量等、理解しており間違いがないよう二重三重にチェックしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>ぬり絵の大好きな方、本を読むのが好きな方、テレビの好きな方、外をながめるのが好きな方、1人1人好みがあるので好みに合うような生活支援をしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>近くへの散歩やタイヨーへの買物はスタッフの方で支援し、お墓まいりや木市等へは御家族が支援して下さっている。</p>	<p>日常的には近隣の散歩をしたり、商店街での買物や地域行事参加などを行っている。春や秋の花見、イルミネーション見学、ドライブなど、定期的に戸外に出かけるようにしている。家族との外食や買い物など支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>おさいふを持ちたがる方、興味のない方、1人1人の想いを知り、本人の希望にそって支援し、管理している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>御家族へTELをかけたがられる方はホームの電話を使ってかけてもらっている。又、ベットの方はスタッフのけいたいを使用することもある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	ローカや食堂に造花や生花を飾ったり七夕飾りや正月飾りを工夫する等して、家にいるような空間づくりを心がけている。	共用空間は明るく窓から通りの車の往来が望められる。温度・湿度など快適な室内環境が保たれている。壁には行事の写真を飾り、花や果樹で四季を感じるよう工夫されている。床はフローリングでソファが置かれ、利用者はテレビを見たり、テーブルを囲んで読書、ぬり絵、トランプ、お喋りを楽しみながら居心地よく過ごしている。	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	気の合う方と同じテーブルにつく、ケンカしたらしばらく別のテーブルにしたりする等、利用者同士の思いをくみとり座る位置を工夫している。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	御家族の協力により家からいろいろな物を持ち込まれて、1人1人個性的な空間ができています。個室である良さを充分に楽しんで下さっている。	居室には介護電動ベッド、エアコン、床頭台、タンス、洗面台が設置してある。家から持ち込まれた家族写真や手作り作品、世界地図、寝具、テーブルなどが持ち込まれ、歩行器、ポータブルトイレ、衣類等、家族や職員の心配りがされ、工夫がされている。	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	自由に居室と食堂、ローカを歩きまわっておられる方や他の利用者の居室を訪問しておしゃべりされる方、利用者様の自由にして生活を楽しんでおられる。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない